

静岡放射能汚染測定室だより

第11号

2012年6月30日発行

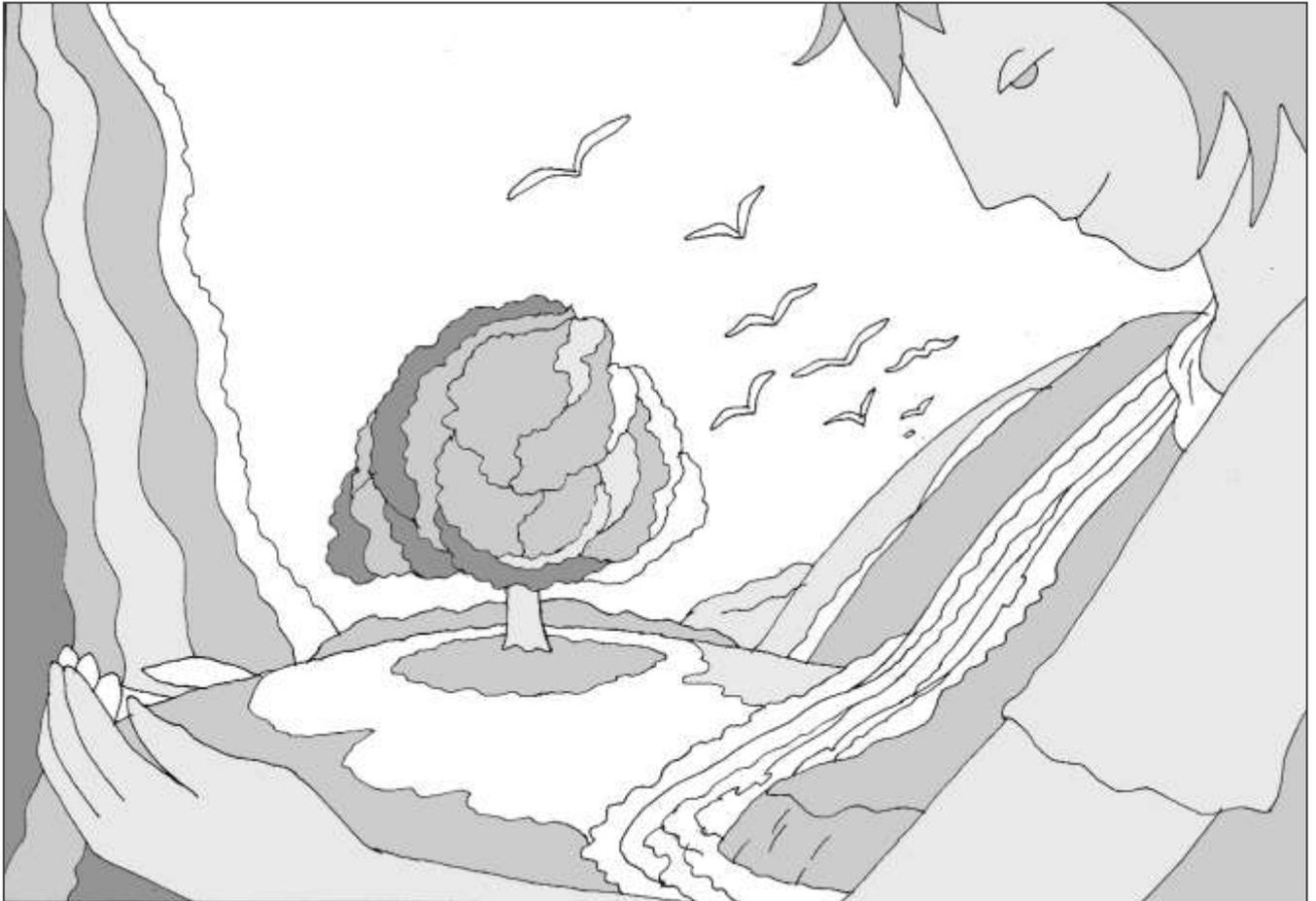


イラスト 清重伸之

目次

- | | | | |
|--------------------|----|------------------|-----|
| ■ 測定結果報告 | …1 | ■ 測定室よりお知らせ | …9 |
| ■ 測定についての補足 | …5 | ・新しい測定器設置の報告 | |
| ■ 6月9日(土) | | ・『地域安心マップ』作成のための | |
| 『測定室 見学会と総会と講演会』 | | 測定について | |
| 報告と感想 | …6 | ・第11回『放射能を話そう♪』 | |
| ・測定室見学会報告 | | お知らせ | …10 |
| ・総会の報告 | | ■ プラムフィールドの窓 | |
| ・講演会の感想 | | 測定室の風 | …11 |
| ■ 瓦礫処理見直しの要望書提出の報告 | …8 | | |

会員頒布用価格 1部 500円

測定結果報告 2012年4月8日～2012年6月6日

静岡放射能汚染測定室調べ 測定値の単位はベクレル/kg、()内の数値は検出限界値(単位はベクレル/kg)

・検体重量(g) ・NDは不検出 ・「↓」は検出限界値以下

	検体名	産地	検体情報	セシウム134	セシウム137	合計	重量g
	大豆	北海道上川郡	H23年度収穫	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	477
	びわの生葉	千葉県千葉市緑区	H24年4月上旬採取、水洗いし、半日水切り	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	334
	九条ねぎ	埼玉県蓮田市	H24年4月上旬収穫、根を取り、1回水洗い	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	549
	大福	群馬県伊勢崎市	H24年3月9日加工、手作り	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	566
	大根	埼玉県蓮田市	H24年4月上旬収穫、水洗いし葉を取り、皮付き	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	527
※1	干しいたけ	宮崎県都城市	H23年4月～5月収穫	ND (1↓)	ND (2↓)	ND	186
	庭の土	静岡県富士市	H24年4月8日採取	4	6	10	1047
	茹でたけのこ	静岡県静岡市葵区	H24年4月13日採取	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	594
	生しらす	静岡県御前崎市御前崎港	H24年3月30日採取	ND (1↓)	ND (2↓)	ND	799
	水道水	福島県郡山市	H24年4月10日採取	ND (1↓)	ND (1↓)	ND	972
	園庭の土	静岡県静岡市葵区	おおぞらキンダーガーデン 水たまりのできやすい所	ND (1↓)	ND (2↓)	ND	1380
	生たけのこ	静岡県静岡市葵区	H24年4月16日採取、可食部	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	608
	たらの芽	静岡県浜松市天竜区	H24年4月13・15日採取	ND (2↓)	ND (4↓)	ND	455
	レーズン	アメリカカリフォルニア州	H23年9月収穫	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	711
	白米	栃木県塩谷市	H23年10月収穫	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	667
※2	ふりかけ	九州(福岡)、北海道(真昆布)	いわしの煮干しと真昆布	ND (4↓)	ND (6↓)	ND	200
※3	ふりかけ	静岡県(鮫)、北海道(真昆布)	鯉(かつお)のふしと真昆布	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	284
	真いわし丸干し	千葉県船子港	H23年6月末～8月10日漁獲 丸ごと測定	ND (4↓)	ND (6↓)	ND	661
	家庭菜園の土	静岡県浜松市中区	H24年4月15日採取	ND (1↓)	ND (2↓)	ND	1089
	母乳	愛知県豊橋市	H24年4月4日～18日採乳、33歳 第1子	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	568
	干しいたけ	静岡県榛原郡川根木町	H24年3月24日収穫 地元原木露地栽培	9	14	23	207
※4	定食一食分	京都府丹波市、滋賀県等	H24年4月中旬調理	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	610
	ふきのとう	長野県上田市	H24年4月15日収穫、水洗い	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	710
	米ぬか(堆肥)	埼玉県久喜市	H23年10月収穫	ND (3↓)	ND (4↓)	ND	370
	キウイ	長野県長野市	H23年秋収穫 1回水洗いし皮ごと	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	637
※5	畑の土	埼玉県久喜市	H24年4月上旬採取	26	54	80	780
※6	田の土	埼玉県久喜市	H24年4月上旬採取	47.2	89.4	136.6	Ge測定器
	原木生しいたけ	栃木県真岡市	H24年3月1日収穫、洗わず石づき付き(冷蔵)	44	70	114	662
	緑茶	静岡県榛原郡川根木町	H23年5月20日収穫	66	104	170	305
	井戸水	静岡県静岡市駿河区	H24年4月16日採取	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	699
※7	おがくず、木くず	静岡県静岡市葵区	H24年4月20日採取 バイオマス発電所外壁の道路への落下物	39.6	66.7	106.3	Ge測定器
※8	庭の土(雨どい下等)	静岡県静岡市駿河区	H24年4月20日採取 バイオマス発電所より2mの位置	494	822	1316	764
※9	庭の土(軒下の花壇)	静岡県静岡市駿河区	H24年6月6日採取	17.7	22.1	39.8	802

	検体名	産地	検体情報	セシウム134	セシウム137	合計	重量g
	生たけのこ	栃木県真岡市	H24年4月25日収穫、可食部	ND (1↓)	ND (2↓)	ND	646
	生たけのこ皮	栃木県真岡市	H24年4月25日収穫	ND (1↓)	ND (2↓)	ND	630
	大豆	北海道上川郡	H23年10月収穫	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	588
	ふきのとう	静岡県静岡市葵区	H24年4月26日採取 1回水洗いしハカマ・茎付き	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	434
	蕎麦	静岡県牧之原市	H24年4月30日収穫	ND (2↓)	ND (4↓)	ND	320
	米ぬか	熊本県宇土市	H23年産米	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	493
※10	燻土	静岡県掛川市	H24年4月10日採取	4	12	16	1057
	原木生しいたけ	静岡県静岡市葵区	H24年4月25日収穫、原木は静岡産、1回水洗い、石づきを取る	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	369
	燻土	静岡県榛原郡吉田町	H24年4月15日採取	3	5	8	1244
	燻土	静岡県浜松市北区	H24年4月15日採取	4	7	11	1411
	小麦粉(全粒粉)	熊本県菊池市	H22年度産	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	634
	堆肥(牛ふん)	静岡県浜松市北区	H24年4月15日購入 震災後に作られたもの	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	686
	大豆	三重県松阪市	H23年11月20日～12月16日収穫	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	563
	みかん	広島県尾道市	H24年4月収穫、品種：なつみ	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	738
	ほうれん草	長野県上田市	H24年5月初旬収穫、水洗い、芽・茎・葉も全て	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	516
	大豆	佐賀県三養基郡	H23年12月収穫	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	523
	大豆	北海道上川郡	H23年収穫	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	545
	ぶなしめじ	静岡県菊川市	H24年4月下旬収穫	ND (2↓)	ND (3↓)	ND	580
	燻土	静岡県御前崎市	H24年3月25日採取、砂地	4	6	10	1362
※11	木材玩具用	北海道帯広市	H23年2月～3月伐採	ND (0.5↓)	ND (0.7↓)	ND	Ge測定器
	燻土	静岡県静岡市駿河区	H24年6月9日採取	ND (1↓)	ND (4↓)	ND	996
	玉ねぎ	静岡県静岡市駿河区	H24年4月中旬収穫、可食部水洗い、	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	629
	水煮たけのこ	香川県、高知県	H23年4月収穫	ND (1↓)	ND (1↓)	ND	936
	生たけのこ	静岡県浜松市天竜区	H24年5月2日収穫 可食部	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	611
	玄米	新潟県村上市	H23年11月1日収穫	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	627
	公園の砂	静岡県焼津市新宜島の公園	H24年4月25日採取、4隅と中央の5ヶ所混合	ND (1↓)	ND (3↓)	ND	1557
	プールの水	静岡県磐田市	H24年5月13日採取、磐田市立田原小学校	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	688
	花壇の土	静岡県焼津市	H24年4月25日採取、震災後、土・堆肥を加えていない	5	7	12	765
	白子(天然ぶり)	長崎県	H24年5月4日加工	ND (2↓)	ND (1↓)	ND	740
	れんこん	広島県	H24年5月2日加工、1回水洗い、皮をむく	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	708
	大豆	静岡県袋井市	H23年11月収穫	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	682
	魚卵まこ(天然ぶり)	長崎県	H24年5月4日加工	ND (1↓)	ND (1↓)	ND	760
※12	大豆五目煮	北海道、群馬、中国	大豆：H23年10月収穫 H24年4月18日調理	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	713
	白米	不明	到来物のため不明	ND (2↓)	ND (1↓)	ND	699

	検体名	産地	検体情報	セシウム134	セシウム137	合計	重量 g
	大豆	熊本県菊池市	H22年収穫	ND (2↓)	ND (1↓)	ND	607
※13	いさき	静岡県御前崎市	H24年4月30日漁獲、頭を除き全てを測定 (3匹)	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	583
	生たけのこ	静岡県静岡市葵区	H24年4月29日収穫、可食部	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	559
	わらび (天然)	静岡県浜松市天竜区	H24年5月13日採取、採取のままの状態	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	525
	もち米	宮城県東松山市	H23年収穫	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	595
	駐車場の砂	香川県高松市	H24年5月18日採取、駐車場隅に吹き寄せられた砂	ND (1↓)	ND (3↓)	ND	1026
	公園の土	香川県高松市	H24年5月18日採取	ND (1↓)	ND (3↓)	ND	1160
	緑茶生葉	静岡県伊豆の国市	H24年5月23日収穫	ND (2↓)	ND (7↓)	ND	334
※14	飲用緑茶 (1煎目)	静岡県伊豆の国市	H24年5月収穫	ND (2↓)	ND (4↓)	ND	704
	畑の土	神奈川県小田原市	H24年5月24日採取	29	48	77	886
※15	腐葉土	神奈川県足柄下郡	H22年秋採取	ND (2↓)	ND (5↓)	ND	655
	水煮たけのこ	静岡県富士宮市	H24年5月収穫、はちく筍	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	563
	緑茶	静岡県牧之原市	H24年4月収穫	ND (3↓)	ND (8↓)	ND	304
	玉ねぎ	千葉県南房総市	H24年5月収穫、可食部水洗い	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	681
	緑茶	静岡県浜松市北区	H24年5月21日収穫	10	17	27	461
※16	緑茶 (やぶきた一番茶)	静岡県御前崎市、掛川市	H24年5月収穫	17	26	43	350
※17	飲用茶	静岡県御前崎市掛川市	※16の飲用茶	ND (1.3↓)	ND (1.2↓)	ND	519
※18	緑茶 (手造り煎茶)	静岡県御前崎市、掛川市	H24年5月収穫	6	11	17	377
※19	飲用茶	静岡県御前崎市掛川市	※18の飲用茶	ND (1.4↓)	ND (1.3↓)	ND	486
	ほうれん草	広島県竹原市	H24年5月28日収穫、根だけを洗い、根付きで	ND (1↓)	ND (1↓)	ND	594
	水道水	広島県呉市	H24年5月29日採取	ND (2↓)	ND (1↓)	ND	580
※20	飲用緑茶	静岡県榛原郡川根本町	H24年5月17日収穫	ND (2↓)	ND (1↓)	ND	519
※21	飲用紅茶	静岡県榛原郡川根本町	H24年5月21日収穫	ND (2↓)	ND (1↓)	ND	611
	玉ねぎ	茨城県筑西市	H24年5月収穫、皮をむいて洗い、根元とアタマ取る	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	735
	緑茶	静岡県静岡市葵区	H24年5月収穫	20	32	52	312
	じゃがいも	静岡県静岡市葵区	H24年6月収穫、水洗いし、皮付きのまま	ND (2↓)	ND (2↓)	ND	632
以下測定器 : 新機種 (EMFジャパン/EMF211型ガンマ線スペクトロメータ) にて測定							
	堆肥	山形県西置賜郡	H24年5月19日採取	34.1	51.5	85.6	662
	土 畑	山形県西置賜郡	H24年5月19日採取	12.7	31.0	43.7	1004
	土 庭	長野県安曇野市	H24年5月9日採取	9.9	7.4	17.3	1131
	土 畑	神奈川県小田原市	H24年5月22日採取	47.3	75.4	122.7	846
	土 公園	静岡県磐田市安久路	H24年4月19日採取、安久路公園	52.3	76.1	128.4	909
	緑茶	静岡県牧之原市	H24年5月1日収穫	16.2	16.9	33.1	317
	すき昆布	岩手県宮古市	H24年3月1日採取	ND (2.3↓)	ND (1.9↓)	ND	246

地域安心マップ 島田市伊太地区							
	検体名	産地	検体情報	セシウム134	セシウム137	合計	重量 g
	土 庭	静岡県島田市伊太2313	H24年5月21日採取	11.3	11.8	23.1	842
	土 花壇	静岡県島田市伊太2313	H24年5月21日採取	5.4	5.3	10.7	835
	土 畑	静岡県島田市伊太2313	H24年5月21日採取	5.2	7.5	12.7	900
	土 畑	静岡県島田市川根町家山725	H24年5月21日採取	5.1	24.3	29.4	1125
	土 畑	静岡県島田市川根町家山725	H24年5月21日採取	5.8	7.7	13.5	1007
	土 畑	静岡県島田市牛尾559	H24年5月21日採取	7.2	7.8	15.0	860
	土 畑	静岡県島田市伊太2311	H24年5月20日採取	6.4	5.6	12.0	660
	土 玄関前	静岡県島田市伊太2404	H24年5月20日採取	164.7	228.5	393.2	1023
	土 雨どい下	静岡県島田市伊太2350	H24年5月24日採取	24.8	30.4	55.1	1053
	土 雨どい下	静岡県島田市稲荷1-10	H24年5月21日採取	3.7	1.1	4.8	1460
	土 庭	静岡県島田市伊太2096	H24年5月20日採取	22.3	24.3	46.7	748
	土 花壇	静岡県島田市伊太2063	H24年5月20日採取	6.0	5.5	11.5	1099
	土 庭	静岡県島田市伊太2097	H24年5月20日採取	14.1	18.8	33.0	877
	土 庭	静岡県島田市伊太2097	H24年5月20日採取	35.6	45.3	80.9	1190
	土 雨どい下	静岡県島田市伊太2135	H24年5月22日採取	140.7	208.9	349.6	1291
	土 畑	静岡県島田市伊太2083	H24年5月22日採取	3.8	2.4	6.1	1329
	土 木の下	静岡県島田市伊太2104	H24年5月20日採取	7.2	9.6	16.8	1247
	土 畑	静岡県島田市伊太2132	H24年5月21日採取	7.4	6.2	13.7	1148
	土 庭	静岡県島田市伊太2137	H24年5月27日採取	1.8	1.5	3.3	1190
	土 畑	静岡県島田市伊太2711	H24年5月19日採取	4.2	10.2	14.4	1005
	土 側溝	静岡県島田市伊太2711	H24年5月19日採取	17.4	23.1	40.5	1196
	土 庭	静岡県島田市伊太2164	H24年5月27日採取	5.1	2.0	7.2	1250
	土	静岡県島田市伊太2338	H24年5月17日採取	18.0	19.9	37.9	706
	土	静岡県島田市伊太2550	H24年5月27日採取	12.6	16.1	28.7	777
	土 庭	静岡県島田市伊太2340	H24年5月22日採取	9.5	8.1	17.5	946
	土 畑	静岡県島田市相賀1007	H24年5月21日採取	4.9	5.4	10.2	1086
	土 側溝	静岡県島田市伊太1314	H24年5月22日採取、伊太小学校側溝①	421.2	637.1	1058.3	915
	土 側溝	静岡県島田市伊太1314	H24年5月22日採取、伊太小学校側溝②	79.1	112.7	191.7	817
	土	静岡県島田市稲荷2-8	H24年5月22日採取	4.0	5.4	9.5	540
	土	静岡県島田市旗指116	H24年5月22日採取	6.5	5.5	12.0	946
	土 道路	静岡県島田市伊太2408	H24年5月23日採取、水たまり	539.4	766.9	1306.3	646

測定についての補足

今回は新機種での測定も始まり、131 検体（食品—72 検体・環境試料—59 検体）の報告をします。食品は、季節的に山菜やお茶が多くなってきました。「たけのこ」で品種の記載のないものは、孟宗竹です。

環境試料は、土・砂・堆肥・プールの水・玩具用木材・木くず・おがくずと多岐にわたっています。同じ地域や場所の土でも、どんな場所なのか（雨どいの下、庭など）によっても違いがあることが測定をしてみてわかりました。

- ※1 原木…鹿児島県産・宮崎県産
- ※2 鰯（いわし）の煮干し…長崎県・熊本県沿岸 真昆布…北海道函館市（旧：南茅部町）
- ※3 鯉のふし…静岡県焼津港水揚げ（赤道直下海域漁獲） 真昆布…北海道函館市（旧：南茅部町）
- ※4 定食メニュー：豆腐ハンバーグ（大豆-滋賀県・金沢市・北海道産）、小松菜の生姜醤油和え、大根とごぼうの炊め煮、玄米ご飯（滋賀県産）みそ汁（H22 年度産仙台みそ）、グリーンサラダ 【野菜-京都府丹波市産・だしの椎茸-奈良県産（H22 年度産）、昆布-北海道利尻郡産（H22 年度）】
- ※5・※6 トラクターにより攪拌済み、1 田畑内を4ヶ所採取し混合
- ※7 おがくず・木くず…8割：安倍川・藁科川周辺産、2割：県内産



早春の絶品タラノメ
不検出で一安心

- ※8 自宅の庭（コンクリート敷き）3ヶ所より採取、苔が生えている土もあり。
2ヶ所…雨どい下、1ヶ所…マンホール周辺
- ※9 ※8と同じ庭
- ※10 耕してある畑の中央付近より数ヶ所採取
- ※11 伐採後1年間、帯広市に貯木。H24年2月静岡へ丸太のまま運搬し、1か月後玩具製作。
- ※12 デパート地下総菜売り場の煮物。
大豆…北海道産、こんにゃく…群馬県産（店で検査済み-不検出）、人参・れんこん・ごぼう…中国産
- ※13 御前崎沖 20～30 kmにて漁獲
- ※14 茶葉 30g を 90℃の湯 900ml で 60 秒間抽出した飲用茶
- ※15 H22 年秋に落ち葉を集め、その場所に H23 年 2 月まで置く。その後、小田原市で野積みにて熟成。
- ※17 ※16 の茶葉 30g を 90℃の湯 1200ml で 60 秒間抽出した飲用茶
- ※19 ※18 の茶葉 30g を 90℃の湯 1200ml で 60 秒間抽出した飲用茶
- ※20 茶葉 25g を 65℃の湯 750ml で 60 秒間抽出した飲用茶
- ※21 茶葉 25g を 90℃の湯 1000ml で 60 秒間抽出した飲用茶

『自然の時のまんま』

…総会で要望があった『こだわりの味協同組合』の食品表示を入れました。



* 8 高濃度の数値が出てしまった土の採取場所
(左) 庭の雨樋の下 (右) マンホール

『測定室見学会 in プラムフィールド』報告

報告: プラムフィールド研修生 渡邊亜希子 豊橋市

2012年6月9日(土)11:00~12:00

午後からの記念講演に先がけて、プラムフィールドにて測定室見学会を行いました。

5月22日(火)より導入された新しい測定器(EMFジャパン/EMF211型ガンマ線スペクトロメータ)及び、もうすぐ浜松へ移設を予定している馴染みの測定器(オリジナルNaIシンチレーション検出器)を使い、日ごろ行っている測定の様子を、現場の雰囲気も合わせ、ご希望頂いた参加者の方々にみていただきました。

当日はあいにくのお天気でしたが、参加者は近隣県からの方も含めて7名。測定室の成り立ちから、昨年の測定再開に至るまでの想いを代表馬場から伝え、実際の検体交換(この日はじゃがいも)を従来器で、バックグラウンド測定の様子を新型器にて、それぞれみていただきました。

参加された方からは新しく入れた空調や、マリネリ容器の取り扱い、また浜名湖で釣ったハゼの検体提出についてなど、測定に関する質問がありました。



測定室見学の様子

未曾有の災害が国内で起こっている今、現段階は序奏に過ぎず、これから本格化してくる汚染状況について、市民の手で、日々勉強しながら、測り・知り、対策していくことの重要性について、実機を前に皆さんと思いを共有できたことは、とても有意義な時間だったと思います。

静岡放射能汚染測定室 2011年度総会報告 報告: 測定室スタッフ 森田しず子

日時: 2012年6月9日(土) 13:00~13:45

場所: 静岡市葵生涯学習センター41集会室

参加者: 46名 (会員-35名+乳幼児7名
スタッフ-9名、顧問1名、会計監査1名)
委任状-45名

会員数: 2012年6月7日現在 280名

【特別会員-3、団体会員-14、会員-141、
情報会員-105、旧会員-17】

朝からの雨にもかかわらず、予定より多くの方が参加してくださり、ありがとうございました。

議 事:

- ◎事務局紹介
- ◎2011年度活動報告 ◎2011年度会計報告
- ◎会計監査報告 ⇒ 以上3件 承認
- ◎2012年度活動計画案・予算

と議事進行しました。

◆事務局から、本年度の提案事項

- ・前年度に引き続き、スタッフの交通費(自動車使用者400円、自転車200円)を支払うことへの了承。
 - ・プラムフィールドに支払う事務所賃貸料(現在1か月電話代、光熱費等全て込みで2万円。エアコン導入に伴い電気代の値上げが予想される)を実情に合わせて値上げも検討。
- の2点について、承認をいただきました。

◆報告事項

- ・購入予定の新しい測定器(EMF211型ガンマ線スペクトロメータ)が予定より早く5月22日に納品され、5月24日より測定を開始しました。
- ・グループでの環境試料(主に「土」)の測定に4グループからの依頼があり、測定後は、随時、『地

域安全マップ』を作成していきます。

◆意見・要望

「測定室だよりの測定結果報告に“こだわりの味共同組合”の商品が分かるように書いてほしい」とのこと ⇒11号より、マークをつけ、わかるようにしていきます。



総会の様子

静岡放射能汚染測定室 1 周年記念講演会参加者感想

報告：島田市 杉本真美

全実録を HP (<http://sokuteisitu.plumfield9905.jp/>) に掲載しました。



左からウォン氏、小出氏、馬場

ウォンさんと小出さんの講演は、予想外に感動の涙で終わった。私は日本の現状と真摯に向き合う覚悟を持って参加していた。まさか号泣するなんて…。奇しくもこの前日に野田首相が「大飯原発再稼働」の演説を行った。ウォンさんが参加者に聞くと、殆どの方が違和感を感じていると知れて安心した。

【経験は最大の学びである】私が子育てを通して学んだ事の一つ。「勉強しろ」「成功者になれ」と、とにかく“学べ!”と大人は言う。でもそう言う大人達こそ、学んでいないのでは？福島原発事故を通して多くの事を学んでいるはずなのに、その結論が“再稼働”？子ども達に対して恥ずかしくて顔が上げられない。「結局学んでも、学ばなくても同じじゃん」と言われても仕方ない。言い返す資格もない。でもそんな大人（母親）には、なりたくない。「色々な経験を通して学んで、あなたが幸せである事こそがお母さんの幸せだよ」そう伝えたい。それには私自身が自分の気持ちに正直になること。そして小さくても行動に移す事。今動かなければ絶対後悔する。それは確実にわかる。

ウォン氏夫人 美枝子さんの朗読
『もしも地雷（原発）がなかったら…』

会場：静岡市葵生涯学習センター大ホール

講師：小出裕章氏（京都大学原子炉実験所

当室アドバイザー）

インタビュアー：ウォン・ウィン・ツァン氏

（ピアニスト・作曲家）

朗読：ウォン・美枝子氏

来場者：261人 スタッフ19人 計280人参加

「子ども達を守りたい、それだけです」小出さんの言葉を改めて今思い出す。全ての母親に共通する想い。子ども達の未来を考えたら、不安に押し潰されて涙が止まらない。でも母親である私達だけは笑っていなければ。その為に必要なのは、正しい情報を手に入れて何をどう選択するか、自分と向き合う事。そうする事で生きる力がおのずと湧いて来る。小出さんや馬場さんの活動に勇気を貰える。さあ、涙をぬぐって前を見よう。大丈夫、お母さんには子どもを守る力が絶対的に備わっている。我が子を妊娠出産したあの壮大なエネルギーがそれを生み出せる事を本能は知っている。行動したら子ども達が一番に味方をしてくれるだろう。そうなったら、百万母力のパワーが湧いて来る。私たちに出来る事は無限大！きっとね…。小さくてもいい、今自分に出来る事から始めよう。私はまず発信する事から…。



6月1日（金）13時より、細野豪志環境大臣に宛てた『瓦礫広域処理の見直しを求める要望書』を、賛同者署名 1407名分を携えて、環境省に提出いたしました。提出にあたっては、浜岡原発裁判の弁護団の弁護士海渡雄一弁護士のお連れ合いであり、社民党党首福島みずほさんが紹介議員として同行してくださいました。

説明をしてくださり、話し合いができました。

会談の中で「最終処分場から、放射性物質（限界値 8000 Bq/k g）がすべて環境へ流出し、拡散しても安全である事を確かめて、一般最終処分場に埋め立てることが出来る基準値を決めた」という説明があり、同席した全員が「最初から、最終処分場から流出する事を仮定しているのですか?!」と聞き直す場面もありました。この最終処分場からの流出についての会議議事録は環境省のHPに公開されているとの説明がありましたので、経緯を確認する宿題を持ち帰りました。

福島みずほ
社民党党首
と要望書を
提出



◆要望書提出と同時に、以下の点を伝えました。

①瓦礫や有害物質は焼却せず、拡散防止の原則に則って、広域処理ではなく、現地で自然循環を利用した処理を目指して欲しい。

②5月末に岩手県、宮城県が瓦礫総量を見直した事に伴い、昨年4月半ばに決めた環境省の広域処理の方針は見直す必要がある事。

③低レベル放射性物質の安全性（健康被害）は、医学的にははっきりと立証できてはいない現状では、環境省の安全基準の数値は根拠に乏しいと思われること。などを伝えました。

◆環境省から対応に出て下さったのは、

環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課調査課長 豊村紳一郎さんと広域処理推進チーム課長補佐 川島 修さんのお二人。

◆環境省からの説明内容は

①決して、広域処理ありきではない。現地で処理できるもの、資源として利用できるものは処理している。

②自然循環の盛り土による森づくりなども検討しているが、問題点もあり、研究中である事。

③広域処理は、焼却処理と最終処分を合わせて依頼しているので、焼却灰を国が処理する事は考えていない。

④被災地からの瓦礫の総量と内容物について、修正報告が出たので、それに伴う広域処理の目標や方法なども、修正する作業は当然行う。など、予定時間を延長して、丁寧に

要望書を直接手渡し、面談をすることが出来た成果は

①瓦礫受け入れを表明している自治体で、「処理後の焼却灰は国が引き取るよう要望する」と言っている市もありますが、環境省は「引き受けた自治体で最終処分も行う条件での依頼だから国で処分をすることは無い」と確認できた事。②瓦礫広域処理については、被災地の行政担当者も現状の把握に時間がかかり1年経って処理量の見直しが行われたため、処理計画の見直しが必要である事を環境省に確認できた事。③環境省の安全基準は、空間線量を基準にしており、処理後に残る灰の放射性物質について、健康に関する安全基準（データ）は持っていない事などです。

また、会談の中で、瓦礫処理のTV広告に15億円もの税金を使った事の是非や、受け入れを検討している自治体の議員・市民を無料で被災地に招待している事は、自主的な受け入れとは言えないのではないか、という意見も伝えました。

瓦礫処理は、被災地現地でも時間の経過とともに、新しい動きも出始めています。原理、原則に則った環境政策へと転換するよう、要望書の第2次締切の6月20日以降に、再度皆さんの声と願いを伝えたいと思います。

測定室よりのお知らせ

新しい測定器設置の報告 報告：馬場利子

5月22日、かねてより皆さんにご案内していました新しい測定器の設置が、予定より1か月以上早く実現しました。新しい測定器の導入の目的は、子どもたちを放射能から守っていくために、より安全な環境を創っていく情報として、環境試料の測定も行ってみたいと考えたためです。

今回、皆さんからの会費・測定料を使わせていただいて購入した測定器は、EMF ジャパン 211 型です。測定試料の重量にも依りますが、1kg の試料であれば測定限界値1bq 前後の測定結果を測定時間30分～1時間で得ることが出来ます。

環境試料は、福島原発事故による放射性物質-セシウム134, 137 だけでなく、大気圏核実験や過去の原発事故による様々な放射性物質を蓄えていますので、NaI シンチレーション検出器ではGe(ゲルマニウム)検出器のような正確な測定結果を得る事は出来ませんが、それでも汚染の程度を知る事は充分、可能です。

この測定器の設置により、1日の測定数が5～10検体程度可能となりました。

新しい測定器の設置と同時に、『地域安心マップ』作成のためのグループ測定を4地域で開始して下さい。

ています。最初の地域『島田市伊太地区』の地域安心マップを、今回、報告していますが、同地域であっても土の汚染は、土の在る場所によって大きく違っている事が分かります。



新しい測定器
EMF ジャパン
211 型

新しい測定器で測定を続ける中で、放射能の振る舞いや性質、環境にある放射性物質からどのように子どもたちを守ったら良いかなど、皆さんと知恵を出しあっていきたくと思っています。

新しい測定器による測定報告書も変わりました。測定スペクトルの読み方など、順次、情報を共有していきたいと思っています。どうぞ一緒に学び合い、歩んでください。

「地域安心マップ」作成のための測定について 馬場利子

◆『地域安心マップ』作成のための測定申し込み方法

2012年5月24日より、土や砂、プールや池などの水、里山の腐葉土など、子どもたちが育つ環境の放射能測定を開始しました。この測定は個人で測定を申し込んでいただくものではなく、地域の繋がりある人々が協働して地域の環境について知り、より安心できる環境にしていく事を目的に、グループで申し込んでいただくものです。

私たち測定室の活動は、測定した情報を会員相互に共有する事で、放射能の在り様や汚染の予防方法を理解して行く事を目的にしていますので、測定した情報は公開を原則にしています。ご了解の上、お申し込みください。



土壌試料は、牛乳パック1～2本に
しっかり詰めてください

- グループ測定の条件 : 1地域、20検体以上。
- 測定受付試料 : 土、砂、堆肥、草、水など
- 測定料金 : 1検体 1000円。

■測定申込み

『土・堆肥測定依頼書』と『試料採取カルテ』があります。

(HP のバナーより **測定申込書** をダウンロードできます)

2 種類の書面に必要事項を記入して、メール又は fax、持ち込みをしてください。

■測定料納入と測定予定日について

測定料金の振り込みを確認後、測定開始日をご連絡します。

測定開始日より 3~4 日前までに、検体を測定室にお届け (送付) 下さい。

■測定資料の採取方法 (正確な測定を行うために、必ず確認をお願いします)

- ・試料は 10 (牛乳パックやビニール袋などに) 必要です。
- ・柔らかい試料は、測定容器にびっしりと詰めますので、10牛乳パック 1.5 本用意して下さい。プール、川、海の水などは 10用意して下さい。

■その他

グループは継続的な活動をしている団体でなくても構いません。

地域の環境放射能を測定したいという目的で、代表者を決めて頂ければ、結構です。

ご不明な点は測定室 (T : 054-209-2021 mail: ssokuteisitu@yahoo. co. jp) へご質問ください。

◆土壌の試料採取方法について

< 試料採取に関してのお願い >

- ① 野外の土、堆肥などは、晴れた天候が 2 ~ 3 日続いた後に採取して下さい。(重量あたりで評価しますので、同じ試料でも含水率の違いで測定値が違って来るためです。雨の直後は雨水の重さが試料の重さに加わるため、重量あたりの測定結果が低くなります。)
- ② 土壌は、金属、木片、大きな石、虫等異物が混入しないように採取して下さい。
(土以外の物が混ざっていると、同じ試料でも測定値が違ってきます)
- ③ 土 (堆肥、川の砂など) は、1000~1800ml を用意して下さい。重量ではなく、この体積で採取して下さい。(お手元に 1ℓ 入りの牛乳パックがあれば、綺麗に洗って乾かしたパックに詰めて下さると量が分かりやすいと思います。しっかりと封をしてお送りください。)
- ④ その他
 - *1) 面積当たりの評価を希望される方は土壌の採取面積 (何cm× 何cm) を測定申込書にご記入願います。
 - *2) 標準採取法では表面から深さ 5cm を採取しますが、耕されている場所 (田畑、家庭菜園など) や攪拌されているような場所 (砂場など) の土壌採取はこの限りではありません。
 - *3) 採取した土壌を 2mm の篩いで篩うと、試料が均一化して測定しやすくなります。この方法が標準的な測定試料採取方法ですが、篩が無い場合はそのまま構いません。

■ 第 11 回『放射能を話そう♪!』は、7 月のうさと展でお会いしましょう

2012 年 7 月 14 日 (土) に開催します。

午前の部 10:30~12:00 参加費無料

午後の部 13:30~15:00 //

今回はフリートークです。うさと展開催中ですが、自然の衣たちを眺めながら、心も緩めて話しましょう! 皆さまのご参加をお待ちしております!【申し込みは不要です】

・『地域安心マップ』について

・土の汚染と健康について ・ **情報をお持ちの方は、是非 知恵の共有をさせてください。**

(宛名)

会計からのお知らせ

当測定室も新年度となり、会員継続された方には「継続完了」、新規の会員の方には宛名シールに「2012年度」の文字を入れました。(6月20日現在)年会費を納入したのに「継続完了」の表記が無い方、または継続のお心当たりのない方は、お手数をかけますが当測定室までご連絡を下さい。

今年度も是非、ご一緒ください。

編集・発行：静岡放射能汚染測定室 事務局

〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3 プラムフィールド内

TEL/FAX 054-209-2021 (月～金 10:00～16:00)

測定室 Ph 070-5034-0920 (月～金 9:00～17:00)

e-Mail ssokuteisitu@yahoo.co.jp

URL <http://sokuteisitu.plumfield9905.jp>

プラムフィールドの窓・測定室の風

測定室顧問 渡辺春夫 (浜松市在住)

チェルノブイリ事故は、八千kmはなれた国の事故であったが、放射能は5月の雨とともに私の地にも音もなく色もなく臭いもなく降り注いだ。レントゲンもワクチンもリスクを承知の上で受けさせず、大事にしてきた娘は当時小学生。すぐさま何か体に影響は出ないだろうと思いつつ、将来の影響は分からない。それから二五年が経過しようとした時、福島原発事故が起きてしまった。原発を批判する人の話は暗くてイカンとよく言われた。原発の話は楽しいことはなにもない、怖いことばかりである。

チェルノブイリ後測定室を立ち上げたが、標準となる物質がないと測定値も核種が定まらない。当時標準に利用したのはピートモスであった。大学で測定されたものを分けてもらい標準とした。お茶、しいたけ、ブルガリア産イチゴジャム、安売りのチョココレート、イタリア製スパゲッティから、Cat137がはつきりピークとわかるほど検出された。近年は、保管に持て余していただろう測定器を再び立ち上げるようになった。今回はお茶を標準物質として使用している。

福島の事故で静岡県内も汚染されることは分かっていたので、なにができるか。専門外の私には正直パニックは心配であったが、教育委員会にマスク着用と外での運動自粛をお願いした。お願いは、教育委員会から秘書課にまわされ、秘書課は危機管理担当にまわし、危機担当は県の危機管理部からは指示がないからとして、何もしてもらえなかった。暫くして県にはメールで、「お茶やシイタケが汚染される」と発信しつつも、いつものように受信確認返信メールもなくゴミBOXか。そして汚染はその通りになってしまった。

昨年から同居し始めた孫には普通の大きさの活性炭入りのマスクを付けさせて登校。子供用のマスクの必要性を痛感。自宅裏にある幼稚園の母親にも、事故の状況を伝えて、最低マスクや雨に濡れないようお話しした。教育委員会があてにならないので、孫の学校に電話を入れ、教頭が対応し、外での体育や遊びは自粛してもらった。幸いいくつかの学校では、児童にはそのことを話したということを知っている。

今回、教育委員会や学校はどう考え、教訓化したのだろうか。また握りつぶした県の危機管理担当はどう感じているだろうか。しかし一番教訓化しなければならないのは、私たち自身である。最後に運命を決めるのは、私たち自身であって、国や行政はあてにならないから。

大気圏内原爆実験、スリーマイル事故、チェルノブイリ事故、福島原発事故を経験してしまった団塊の世代。この七月、娘に二人目の子どもが生まれる。